

第11回 北九州市迷惑行為防止推進協議会 議事要旨

- 1 日 時 平成23年7月22日(金) 10:30~12:00
- 2 場 所 北九州市役所本庁舎3階 大集会室
- 3 議 事 平成22年度事業報告
平成23年度事業計画及び予算
- 4 出席者 大坪委員(会長)、太田委員、加来委員、加藤委員、後藤委員、嶋田委員、
中村委員、樋口委員 計8名

5 議 事

- (1) 平成22年度事業について事務局から報告を行い、その後意見交換を行った。
委員の主な発言概要は次のとおり。

落書きについては過料適用の実績がないが、街中の防犯ビデオやカメラの情報を活用して、違反者に注意や勧告をすることも検討してほしい。

条例を知っていて違反する者と、知らないで違反する者の割合はどちらが多いのか。
(事務局)現場では、知っていても「知らない」というケースがほとんどであり、その割合を把握することは困難である。

他都市の状況をみると、条例を制定し、重点地区を指定しているが、過料適用を行っていない都市もある。北九州市も最終的には禁止地区がなくなっていくことが究極の目指すところだと思うので、そのビジョンを見失わないようにしていきたい。

重点地区から少し離れた場所では相変わらず路上喫煙を見かけるが、重点地区、推進地区以外の場所でも地域の住民が立ち上がって目立つ衣装で巡回すれば啓発になる。

車からのたばこの吸い殻のポイ捨てを見ない日はない。大変残念である。

本市の迷惑行為防止巡視員の数は他都市の人口比からみた巡視員の数と比較して遜色ないのか。

(事務局) 他都市の巡視員数も把握しているが、本市の巡視員数は遜色ない数である。

(2) 平成23年度事業計画及び予算について事務局から説明を行い、その後意見交換を行った。委員の主な発言概要は次のとおり。

盗難自転車の放置が過疎地で相当数発生しており地域の環境にも悪い。警察はこれが地域の大きな問題になっていることを留めおいて、地域からの通報があった場合には、しっかり対応してほしい。

児童がつくった標語をポスターに入れ込むアイデアはよいと思うが、ポスターの図案には、路上喫煙やポイ捨てなどいつもの4つの迷惑行為だけでなく、14の迷惑行為の全てが表示されるように工夫してほしい。

折尾駅前の落書きについて、消去活動に着手出来ないでいるうちに落書きが増えてしまった。周辺大学の若者に呼びかけて消去活動をしたいと考えているが、市の「若者の参加を促進する落書き消去イベント」事業とも絡むのであればぜひ一緒にやりたい。

落書き消去などのボランティア活動に興味があっても参加の方法が分からない一般の方も多いので、市政だよりで告知するなど参加しやすい方策を考えてほしい。

「モラル・マナーアップ教育推進事業」の児童向け教材づくりについては、できるだけ幅広い地域の意見をカバーできると理想的だと思う。

モラル・マナーアップ教育については、今、子どもにとって何を教えれば最も効果があるのかを考えて、重点をしばって行うべきである。

ゴミ出しのマナーが守られていなかった地区で、地域の方がごみ出し場をきれいに清掃して、プランターに花を植えるなど「環境づくり」をおこなった結果、マナー違反が治まったという話を聞いた。地域の人たちの思いやりの心により啓発が広がっていくと思う。

広く市内のモラル・マナー意識の向上を図るためには、市からの投げかけだけでなく、地域で活動している団体などの声や報告などを受けとめる場をつくり、熱心に取り組まれる方の名前の公表や表彰などを行えば、市民が積極的に活動に参加するきっかけになると思う。

「地域における市民啓発推進事業」について、市民センターで啓発を行った場合、すでにモラル・マナーの意識が高い人の意識がさらに高くなるという好循環はあると思うが、それ以外の方々については、「ごみ拾いに参加しましょう」など誰もが参加しやすい手法を話せる場があれば大変よいと思う。

<会長まとめ>

今、自治会をはじめ市民の中に迷惑行為防止活動に非常に熱心に取り組まれている方がおり、この方々の活動をどのように受けとめて、活動を続けてもらえるようになるのか、また、そのような方がいることを市内の他の地区に伝えることによって後に続く方々をどのように増やしていくのが重要だと思う。

本日いただいた意見を参考にしながら、修正していけるところは修正しながら本年度の計画を遂行していきたいと思う。

(3) 報告

- ・市観光ガイドブック「もりたび」への迷惑行為防止重点地区の情報掲載について
- ・「平成23年度九州ブロックPTA研究大会」参加者へのモラル・マナーアップ関連条例の周知について
- ・「平成24年度日本青年会議所第61回全国大会」参加者へのモラル・マナーアップ関連条例の周知について